

学校教育評価表（中学校）

学校名 大津市立田上中学校

評価の基準（3:よくできた 2:できた 1:あまりできなかった 0:まったくできなかった）

項目	評価の観点		自己評価 (3・2・1・0)	学校関係者評価 (3・2・1・0)	関連するSDGsの 目標(参考)
主体的・対話的で深い学び	1	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	3	3	
	2	協働する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善(ICTの活用含む)	2		
	3	主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会の実施	3		
道徳教育の充実	4	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施	3	3	
	5	ものごとを様々な視点からとらえ考えさせる道徳科の授業・評価に関する研究	2		
	6	保護者等への道徳科の授業公開	3		
体力づくり	7	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	3	2	
	8	体力づくりを推進する運動実践	2		
	9	生涯にわたって健康を保持増進し、進んで体を動かそうとする意欲の育成	2		
指導改善 (組織的・計画的)	10	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善	3	3	
	11	教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上	3		
	12	働き方改革の取組と教育活動の質の改善	3		
育ちと学びを支える 連 携					
① 家庭・地域との 連携・協働	13	子育てや家庭教育に対する 保護者への積極的な支援	3	3	
	14	保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用	3		
	15	防災教育・感染症対策等の推進を含む、地域の実態に応じた安心・安全な学校づくり	3		
② 保幼小中の 連 携	16	子どもの校種間交流や教員の出前授業	3	3	
	17	校種間の授業公開や合同研修会	3		
	18	保幼小中の接続期の教育課程編成等、円滑な接続を図る校種間のカリキュラム研究	3		
組織的体制の 充 実					
① 生徒指導体制の 充 実	19	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導 ※	3	3	
	20	生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進 ※	3		
	21	家庭・地域・関係機関との連携による指導	3		
② 特別支援教育の 充 実	22	個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用	2	2	
	23	組織的・計画的な特別支援教育体制の確立	2		
	24	関係機関と連携した相談体制の充実	3		
※ 特にいじめについては、学校基本方針の評価と関連させて行うこと					
学校満足度	25	児童生徒の学校満足度	3	3	

※	児童生徒アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.56
※	保護者アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.25

* 各校の学校評価書から上記の1~25の観点にかかる自己評価および学校関係者評価結果を取り出し、本表に移記ください。
* 評価の項目と関連があると考えられるSDGsの目標を参考として表示しています。

令和5年度 教育評価書

大津市立田上中学校

<校訓> 責任・誇り・感謝

<田上学区> あいさつ・整理整頓

<学校教育目標> **たくましい生徒(意)**

なかのよい生徒(情)

かんがえる生徒(知)

みずから行う生徒(行)

<めざす教職員像> 温かさと厳しさ

誠意と情熱 教育愛

組織的な教育力 専門性

<重点課題> 生徒が主体的・対話的に取組み、「深い学び」につながる授業づくり

項目	生徒・保護者評語	教職員評語	学校関係者評語
<p>◎学校ならびに家庭での主体的・自覚的な学習習慣の確立</p> <p>◎「田っ中まなびのスタイル」の共通実践によるよりよい学習規律の醸成</p> <p>◎ICT等の活用や視覚的なわかりやすさなどに着目した授業改善</p> <p>◎「次の学びに向かう態度・調整力」をとらえる学習評価の工夫</p>	<p>◎みんなと協力して課題を解決するのは楽しいと多くの生徒が感じており、「田っ中学びのスタイル」をさらにすすめていくことで、協働的な学びをすすめていく。</p> <p>◎先生が授業を工夫してくれていると96%の生徒が感じて授業を受けられている。</p> <p>◎教科でわからないところを先生は丁寧に教えてくれていると93%の生徒が感じている。</p> <p>●学習意欲の向上や基礎基本の定着、応用発展力の育成のための学習指導を工夫して行っているが、まだ不十分だと考える保護者も多い。ICT機器の活用などの、学習環境を活かしたり、一人ひとりのつまぎに丁寧に対応したりして、引き続き学習指導の工夫に努めたい。</p> <p>●保護者は、学びが深まるような授業の改善をもっとすすめてもらいたいと考えており、今後も研修をすすめていくことが必要である。</p> <p>●計画的に家庭学習をすすめていないと多くの生徒ならびに保護者が感じており、改善のための手立てを講じていく必要がある。</p>	<p>◎グループによる学習活動を積極的に取り入れることで、周りの生徒と協力させながら、生徒が自ら学ぶようとする意欲を高めることができた。</p> <p>◎「田っ中学びのスタイル」の共通実践により、小グループによる学び合い活動が、どの授業でも定着させることができた。</p> <p>◎ICTを活用し、視覚的に学習を支援したり、意見交流の機会を増やしたりすることで、「深い学び」につなげることができた。</p> <p>◎毎学期や夏休みに、授業研究や研修を積極的に行うなど、授業改善に取り組む中で、学習評価の工夫のための研修をすすめることができた。</p> <p>●家庭での主体的な学習習慣を確立させるために、e-ラーニングを様々な場面ですすめてきたが、日常の学習習慣の確立するには至らなかった。</p> <p>●個別の指導計画や教育支援計画を活用がまだまだ徹底することができていない。個別最適な学びがすすめられるように授業の改善をすすめていく。</p>	<p>◎先生方が、授業の改善をめざして取り組んでいることが、今の田上中学校の落ちつきをもたらしている。</p> <p>◎予習や復習をまずはやっていくことが大切なのではないか。</p> <p>◎学校は、家庭学習をすすめられるように計画表を配布するなど工夫はされているが、子どもたちは多忙の中でできていない。</p> <p>◎子どもたちは、「分かってほしい」「教えてほしい」という気持ちを持っているので、今後もそれに応えていけるようでありたい。</p> <p>●家庭学習については、保護者と連携しながら、今後も支援の方法を考えていってほしい。</p>

<重点課題> 自尊感情を育み、思いやりの心をもとに高め合う集団(学級)づくり

項目	生徒・保護者評語	教職員評語	学校関係者評語
<p>◎自尊感情や思いやりの心を育む場としての集団(学級)づくり</p> <p>◎切磋琢磨し、互いを高め合う場として集団(学級)づくり</p> <p>◎「あいさつ」「整理整頓」「自転車マナー」とともに向上させる集団づくり</p>	<p>◎クラスで安心して過ごすことができていると96%の生徒が回答しており、学校が安心して過ごせる場となっている。</p> <p>◎小グループで話し合い活動をするということについても、多くの生徒が好きだと答えている。</p> <p>◎よりよい集団づくりに努力できていると80%を超える保護者が回答しており、本校の集団づくりへの理解が深まっている。</p> <p>◎多くの生徒がいじめを無くそうとする気持ちを強く持っている。小さなことにでもしっかりと向き合い、いじめを許さない集団にしていきたいための指導が奏功している。引き続き指導をしていきたい。</p> <p>◎多くの保護者は、人の役に立てるような活動の機会を積極的に設定することができていると感じてもらっており、今後もボランティア活動をさらにすすめていく。</p> <p>◎保護者は、いじめを許さない風土を醸成する子ことができていると感じておられる。また、生徒についても、いじめはどんな理由があってもいけないという認識が育っている。</p> <p>◎困ったときや悩んだときに相談できる先生がいる、先生は私のことをわかってくれていると多くの生徒が回答しており、心強く感じている。しかし、少数ながら頼りになる人がいないと回答した生徒もいることから、生徒が悩みを気軽に相談することができるような体制や雰囲気を整える努力を継続していきたい。</p>	<p>◎体育祭や文化祭などを生徒が主体的に活動できる場面として充実させることができた。</p> <p>◎グループによる学習活動を積極的に取り入れ、いろいろな人の意見を聞くことで、周りの人を認める姿勢を育てることができた。</p> <p>◎人の意見を聞けるように指導し、学習規律をクラス全員で守ろうとする意識を高めることができた。</p> <p>●学校が好きであると86%の生徒が答えているが、この数値が100%になるように、さらに個々の生徒に寄り添いながら集団づくりをすすめていく。</p>	<p>◎クラスで安心して過ごすことができていると96%の生徒が回答しているなど、学校が安心して過ごせる場になっていることは、非常にうれしい。学校の取組の成果だと言える。</p> <p>◎生徒それぞれがテーマをもって学習するなど、自分のやりたいことを見つけられるようでありたい。</p> <p>●まだまだ、自主性という部分では、育っていないように感じる。自主性を高めるためにも、さらに生徒が自ら様々なことを企画・運営する場を作っていく必要がある。</p> <p>●学校が安心な場でないと感じている生徒がまだ6名いる。その子たちにも目を向けた指導をお願いしたい。</p>

<重点課題> 地域とともに前進し、「ふるさと」を愛する心を育てる学校づくり

項目	生徒・保護者評語	教職員評語	学校関係者評語
<p>◎「田上中コミュニティスクール」開設初年度の充実</p> <p>◎「生きぬく力の礎」を身につけさせる実効性ある保幼小中の連携</p> <p>◎生徒・保護者・地域とで行うボランティア活動の推進(学校夢づくりプロジェクト『田上中ポイ捨てクリーンウォーク』) ~とともに汗して「ふるさと」を美しく~</p>	<p>◎参観授業や懇談会など、生徒を見てもらえる機会を十分に設定することができていると感じていただいている。</p> <p>◎保護者は、子どものことを小学校としっかりと連携してくれていると感じてくれており、進級時に生徒が困り感に寄り添うことができている。</p> <p>◎今年度からtetoruを用いて学校だよりなどを配信するようになったが、地域との交流や情報発信をしっかり行っていると多くの保護者が感じていただいている。</p> <p>●生徒は、地域の行事や生徒会活動などへ積極的に参加できなかったと感じてはいるもの人や地域の役に立ちたいと自らの行動を起こせる生徒も着実に育っており、今後、さらに積極的な活動になるような手立てを講じていきたい。</p>	<p>◎年間2回、参観授業を実施することができた。また、文化祭や体育祭についても、参観してもらえるような体制を組むことができた。</p> <p>◎小学生向けの部活動体験やいじめ防止の交流会などが実施できた。小学生に中学生の成長した姿を見せることにより、より連携となっている。</p> <p>◎「田上地域の子どもを見つめる会」を中心に連携をすすめることで、進学の円滑な接続に配慮できている。</p> <p>◎ボランティア活動を推進し、自主的・自発的な生徒の活動を引き出すことができた。来年度も全学的な気運を高め、生徒の活躍の場となるように引き続き取り組んでいきたい。</p> <p>◎コミュニティ・スクールでは、教員と生徒、地域の方とで、学校の課題などを話し合うことができた。</p>	<p>◎ボランティアに参加している生徒の活き活きとした顔を見てみると、「ふるさと」を愛する心は十分に育っていると感じる。</p> <p>●保護者アンケートの結果があまりよくないのは、学校の良いところが分かってもらえていないのも原因だと思われる。様々な場面で、学校の取り組みを報告していただいているが、さらに保護者に田上中学校の良いところのPRに努めてもらいたい。</p> <p>●生徒の企画の中で、学校・保護者・地域が集まれる場を持てるようにしてほしい。</p>

<p>学校評価のまとめ(課題と次年度に向けた改善方策)</p>	<p>◎深い学びにつながる授業になっていない面がまだまだある。</p> <p>→校内研修や授業参観などをさらにすすめていくことで、授業の改善をすすめていき、主体的に学習に取り組むことができるようにしていく。</p> <p>◎計画的・継続的な家庭学習の推進をすすめることができていない。</p> <p>→すべての生徒が自ら学習できるような内容を家庭学習としてすすめられるようにする。</p> <p>◎全体的に個別の指導計画を活用できていない面がまだまだ多くある。</p> <p>→情報の共有の仕方とそれぞれの生徒への支援の方法をアップデートしていけるようにしていく。</p> <p>◎積極的に地域行事などに参加できていないと感じている生徒が多い。</p> <p>→行事やボランティア活動などに積極的に参加できるような仲間づくり・集団づくりをすすめていく。</p>
---------------------------------	--